

- ※ スライドの追加は可能。
ただし、1-1～3-4の項目は変更しないこと。
また、全体で30ページ程度までを目安とすること。
- ※ 記入要領や記入例は削除すること。

別添2

[様式7]

サービス・テンプレート

平成22年〇月〇日

代表提案者:〇〇

1. ICTを活用した新しいサービスの概要	
1-1 提案の概要	X
1-2 開発・実証の成果	X
1-3. ICTを活用した新しいサービスの概要(モデル図)	X
1-4. ICTを活用した新しいサービスの概要(システム構成図)	X
1-5. ICTを活用した新しいサービスの概要(各主体にとってのメリット等)	X
1-6. サービス利用者の特性と具体的なニーズ (参考)サービス利用者等の声から見る具体的ニーズの検証	X
1-7 開発・実証成果の推進と普及展開の仕組み	X
1-8. ターゲット市場と市場規模	X
2. 実施計画	
2-1. プロジェクトの体系	X
2-2. 実証用システムの構成図	X
2-3. サービスの実証(概要)	X
2-4. スケジュール(平成22年度～平成24年度)	X
2-5. スケジュール(平成22年度)	X
3. その他	
3-1. 数値計画①:売上・粗利シュミレーション(プロジェクト実施後)	X
3-2. 数値計画②:売上シナリオ(プロジェクト実施後)	X
3-3. プロジェクトリスクの整理と対応	X
3-4. 他のサービス・プロジェクトとの比較	X

1. ICTを活用した新しいサービスの概要

1-1. 提案の概要

- 開発・実証の成果及びそれを踏まえて、どのような場所・利用場面において、どのような利用者に対して、どのような情報・機能を提供するサービスか。
- これにより、利用者にとって何がどうなり(メリット)、(国民生活の利便性の向上／持続的経済成長／新たな市場の創造)に寄与するものか。

【記入要領】

※提案の概要をイメージできることを目的とし、以下の要素を参考に、分かりやすいポンチ絵を挿入願います。

- ・開発・実証で得られる成果等
- ・サービスの利用場所・利用場面が分かる要素(実社会における物)
例: 電子申請なら企業等のオフィス、ITSなら道路等
- ・サービスの利用・提供に関係する主体(サービス利用者、サービス提供者、コンテンツ提供者等)
例: 電子申請なら企業等の従業員、ITSなら車の運転手等
- ・これらの主体間でやりとりされるサービスや情報の内容
例: 電子申請なら申請書情報、ITSなら交通情報等
- ・システム構成
例: 利用者の端末、サービス提供者のサーバ、これらを接続する有線/無線ネットワーク等

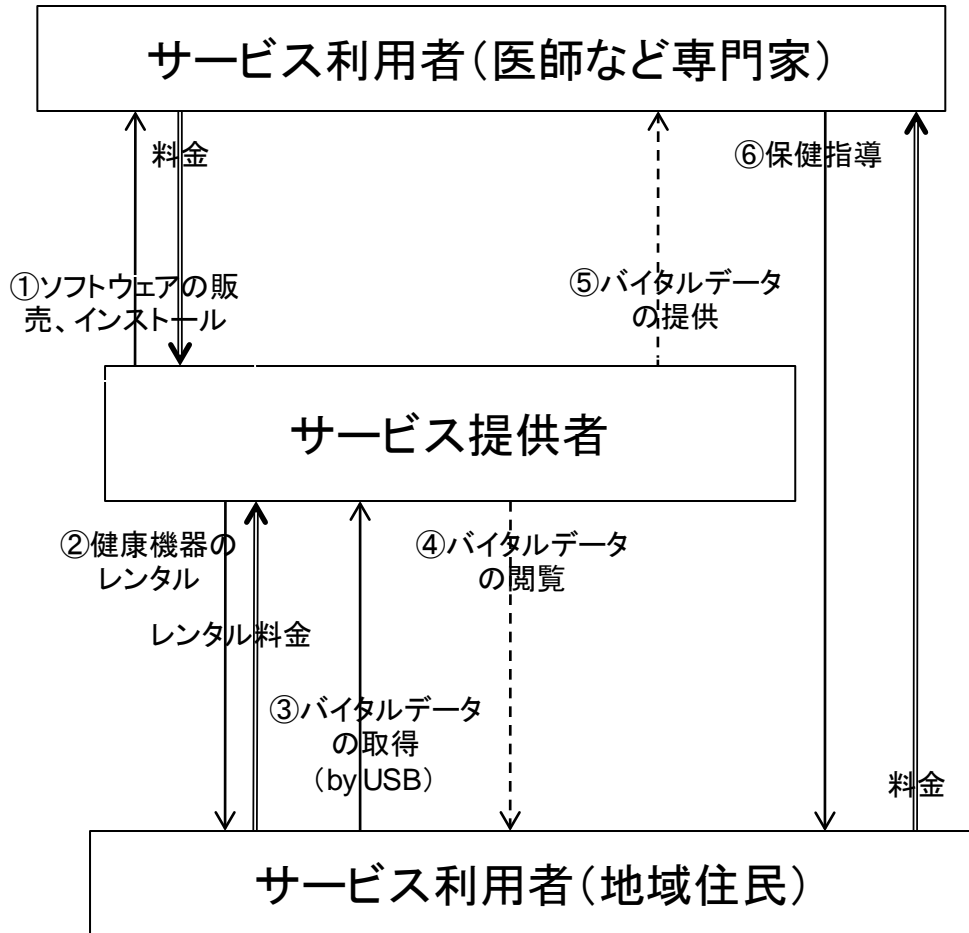
1-2. 開発・実証の成果

【記入要領】

※開発・実証の成果として得られる、標準技術、運用ガイドライン等について、課題・背景、目的、内容等を説明してください。

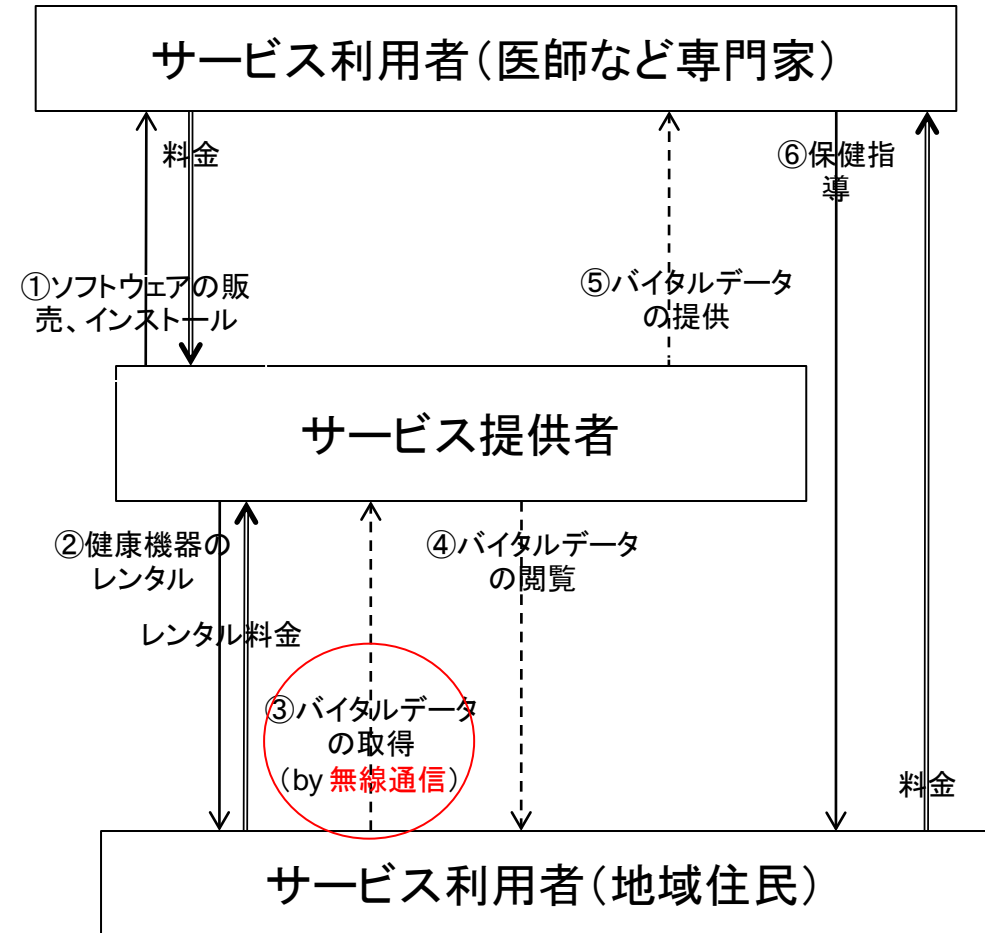
1-3. ICTを活用した新しいサービスの概要(モデル図)

現状



プロジェクト実施後

- 【凡例】
 □: 主体
 →: サービス(非ネットワーク経由)
 ->: サービス(ネットワーク経由)
 ⇒: 料金
 赤色: 現状と違う部分



1-3. ICTを活用した新しいサービスの概要(モデル図)記入要領

【記入要領】

(プロジェクト実施後)

※「1. 実施内容等」の「ICTを活用した新しいサービス」のモデルについて記入して下さい。手順は、以下のとおりです。

- (1) サービスの利用・提供に関係する主体(サービス利用者、サービス提供者、コンテンツ提供者等)を、□の中に「サービス利用者(〇〇)」、「サービス提供者(〇〇)」、「コンテンツ提供者(〇〇)」などと記入して下さい。〇〇は、対象(ターゲット)とするサービス利用者の属性がある程度分かるようにして下さい。
- (2) これらの主体間でやりとりされるサービスや情報の流れを→で記入して下さい。
- (3) →の上又は近くに、やりとりされるサービスや情報の内容を「①ソフトウェアの販売、インストール」などと記入して下さい。
- (4) やりとりされるサービスや情報の内容のうち、ICTを活用するものについては、「③バイタルデータの授受(by USB)」などと記入して下さい。
- (5) これらのサービスや情報の対価として想定しているサービス利用料等があれば「⇒」とともに「〇〇料金」などと記入して下さい。

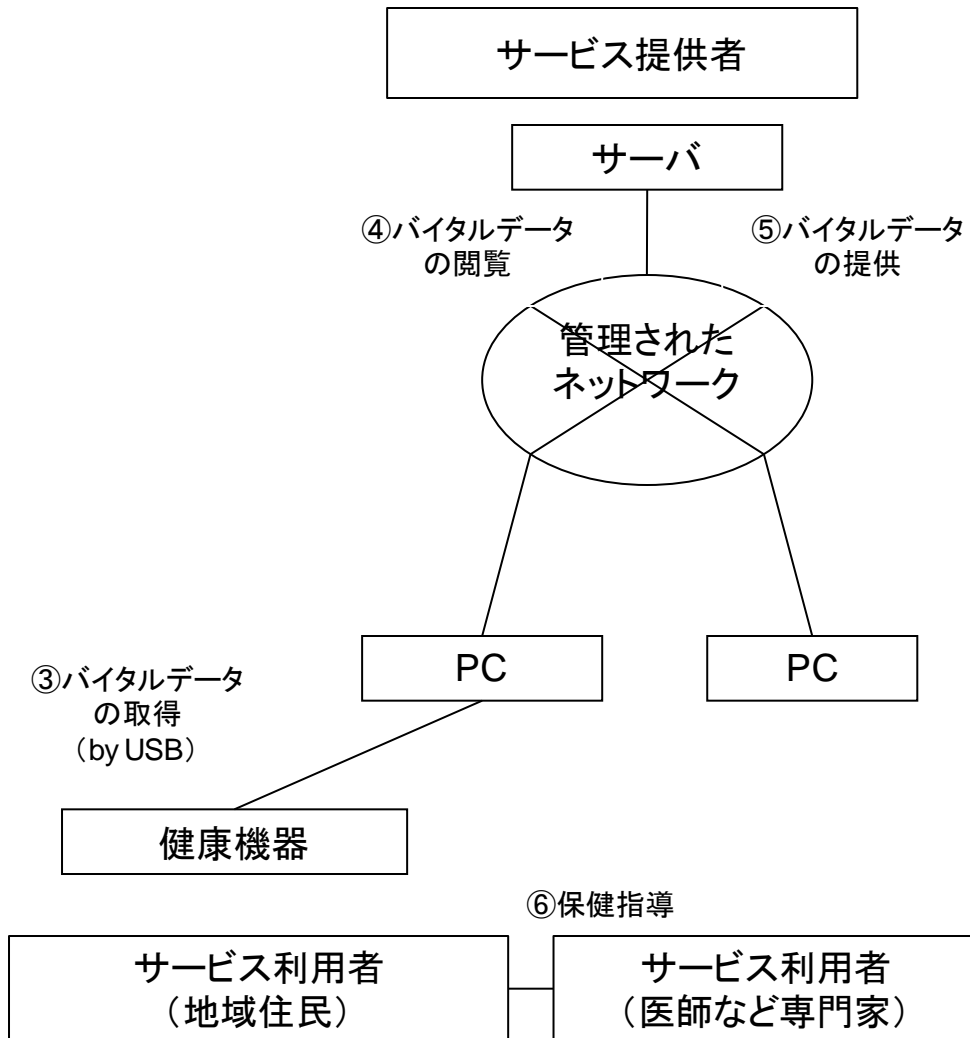
(現状)

※「1. 実施内容等」の「ICTを活用した新しいサービス」の新規性を説明することを目的として、比較対象とする現状のサービスのモデル(複数ある場合は主なもの)を記入して下さい。

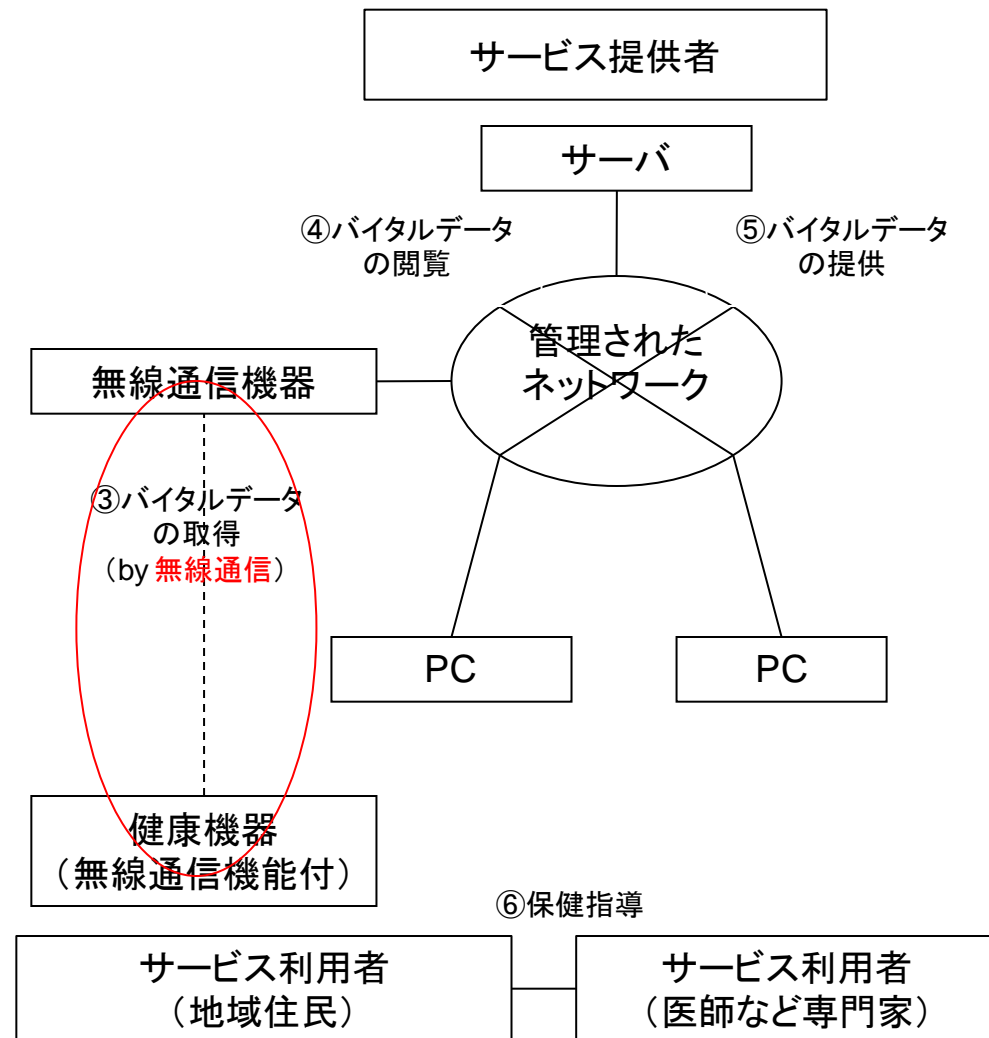
※「プロジェクト実施後」との違いを明確化して下さい。

1-4. ICTを活用した新しいサービスの概要(システム構成図)

現状



プロジェクト実施後



1-4. ICTを活用した新しいサービスの概要(システム構成図)記入要領

【記入要領】

(プロジェクト実施後)

- ・「モデル図」の「プロジェクト実施後」に対応するシステム構成(利用者の端末、サービス提供者のサーバ、これらを接続する有線/無線ネットワーク等)を記入して下さい。
- ・端末やサーバが誰が利用するものか分かるように、「モデル図」の「主体」も記入して下さい。
- ・「現状」と違う部分を赤い○で囲んで下さい。

(現状)

- ・「モデル図」の「現状」に対応するシステム構成を記入して下さい。

1-5. ICTを活用した新しいサービスの概要(各主体にとってのメリット等)

主体	現状の課題	プロジェクト実施後	
		メリット	負担
サービス利用者 (地域住民)	バイタルデータの取得をUSBにより行うため、PCに不慣れな人にとって利用しづらく、PCに慣れた人にとっても手間がかかり、利用が継続しにくい。このため、バイタルデータの閲覧や、これを活用した保健指導を受ける機会が得にくく、健康増進されにくい。実際、〇〇の地域住民の何%(何人)が、PCの慣れ・不慣れに関わらず、利用が継続しやすいサービスを求めている。	バイタルデータの取得を無線通信により行うため、PCの慣れ・不慣れに関わらず、利用に伴う負担が軽減され、利用が継続しやすい。このため、バイタルデータの閲覧や、これを活用した保健指導を受ける機会が得やすく、健康増進されやすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康機器(無線通信機能付)を身に付けること。 ・バイタルデータを自ら閲覧する場合は、PCを所有、操作、管理すること。
サービス利用者 (医師など専門家)	バイタルデータの取得が継続されていないと、効果的・効率的な保健指導がしにくい。	バイタルデータの取得が継続されていると、効果的・効率的な保健指導がしやすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・PCを所有、操作、管理すること。
サービス提供者	バイタルデータの取得をUSBにより行うなどサービスの利便性が低いため、サービス利用者が増えにくく、サービス利用料が得にくい。	バイタルデータの取得を無線通信により行うなどサービスの利便性が向上し、メリットが拡大するため、サービス利用者が増えやすく、サービス利用料が得やすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバの管理 ・サーバ上の個人情報の保護

※モデル図で記入した各主体ごとに、モデル図、システム構成図を踏まえ、現状の課題、プロジェクト実施後のメリット(主にICTの活用に起因するもの)、負担を記入して下さい。

1-6. サービス利用者の特性と具体的なニーズ

主体	特性	具体的なニーズ(抽出・整理・仮説)
サービス利用者 (地域住民)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康意識の高い個人 ・健康に不安を抱えている個人 ・健康診断の結果に問題があった個人 <p>※「新しいサービスの概要(各主体にとってのメリット等)」で記入した各主体ごとに、本サービスの利用を想定している者の特性を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のバイタルデータを手軽に取得したい。 ・自分のバイタルデータを閲覧したい。 ・自分のバイタルデータを基に、効果的な保健指導を受けたい。 <p>※「新しいサービスの概要(各主体にとってのメリット等)」で記入した各サービスについての切実なニーズを整理する。</p> <p>※ニーズは、次頁の「声」を踏まえ抽出・検証されたものであることが望ましい。</p>
サービス利用者 (医師など専門家)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

(参考) サービス利用者等の声から見る具体的ニーズの検証

主体	声(属性、年月日)
サービス利用者 (地域住民)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の結果がよくなかったため、自分のバイタルデータを手軽に閲覧して健康管理を行い、悪化した場合は、速やかに保健指導を受けられるようにしたい。(〇〇町住民、平成20年〇月〇日) ・ ・ <p>※前頁の「サービス利用者の特性と切実なニーズ」の「切実なニーズ」を裏付ける声があれば記入する。</p>
サービス利用者 (医師など専門家)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
サービス提供者	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
その他の関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇県〇〇町では、健康管理サービスが導入されているが、使い勝手に課題がある。もっと手軽に使える機器・サービスが導入されれば、利用されるのではないか。(〇〇大学教授、平成21年〇月〇日) ・当市は財政がひっ迫しており、〇〇費削減が課題。このようなサービスが導入されれば、住民サービスの向上とともに、〇〇費削減にとっても寄与するものとなるので、ぜひ導入したい。(〇〇市〇〇課職員、平成〇〇年〇月) ・ <p>※上記主体に当てはまらない有識者等の関係者の声があれば、「その他」として整理する。</p>
出典	<p>※出典となる調査結果(アンケート、報告書等)があれば、この欄に「アンケート、報告書等の名称」(調査主体、年月日)を記入の上、該当部分を抜粋・添付して下さい。</p>

1-7. 開発・実証成果の推進と普及展開の仕組み

【記入要領】

※ 開発・実証成果の推進及び普及展開等を適切に遂行できることを説明してください。

1-8. ターゲット市場と市場規模

【記入要領】

※上記の「ICTを活用した新しいサービスの概要(モデル図)」の料金が発生する部分ごとに対象とする市場を設定し、その市場規模を推定する。

2. 実施計画

2-1. プロジェクトの体系

政策目標:ICTを活用した新しいサービスの創出

成果目標:
(1)ICTを活用した新しいサービスの創出に向けた開発・実証

①技術開発・システム構築

ア. サービス要件に関する調査・検討

イ. ××技術の開発

ウ. 実証用システムの構築

②サービスの実証

ア. 実証の準備

イ. フィールド実証の実施

ウ. 実証データの取得・分析

③サービス展開の検証

成果目標:
(2)新しいビジネス分野の基盤となる技術の確立、技術標準化、運用ガイドラインの策定等の実現

①〇〇の標準化に向けた提案

②〇〇に関するガイドライン案の作成

(3)プロジェクト管理

①報告書の作成・修正

②〇〇プロジェクト運営委員会の開催

※樹形図を用いるなど、提案するプロジェクトの体系を分かりやすく記入して下さい。

2-2. 実証用システムの構成図

※上記の「ICTを活用した新しいサービスの概要(システム構成図)」の「プロジェクト実施後」を踏まえ、実証用システムの構成図を記入して下さい。

※記入する要素は、利用者の端末、サービス提供者のサーバ、これらを接続する有線/無線ネットワーク等が考えられます。

※実証用システムを構成する各機器は、その台数、設置・運用場所が分かるように、地図上に配置して下さい。

※「ICTを活用した新しいサービスの概要(モデル図)」に記入した各主体を、実証用システムを構成する機器のうち、適切なものの隣に配置して下さい。

2-3. サービスの実証(概要)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用者にとってのシステムやサービスの使い勝手の検証、課題抽出 ・各主体にとってのメリットの検証、課題抽出 ・・・
仮説	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用者は、サービス利用前と比較して、サービス利用後の〇〇(指標)が、〇〇向上する。 ・サービス利用者は、非サービス利用者と比較して、サービス利用後の〇〇(指標)が、〇〇高い。 ・サービス利用者の〇〇%はサービス内容に満足し、うち〇%は料金を払っても使いたいと回答する。 ・・・
時期	<p>平成20年〇月上旬～〇月</p> <p>※「スケジュール(平成22年度)」と整合を図って下さい。</p>
場所	<p>※提案概要「2. 実施場所」の「実証実施場所」を転記して下さい。</p>

	主体	一般モニター／関係者	人数(規模)
参加者	サービス利用者 (地域住民)		
	サービス利用者 (医師など専門家)		
	サービス提供者		

2-4. スケジュール(平成22年度～平成24年度)

項目		平成22年度	平成23年度	平成24年度
背景	分野の動向	※提案概要「1. 実施内容等」の「当該分野に関する動向(政策・制度、社会・経済等)」を踏まえ記入	※同左	〇〇の実現 ※同左
政策目標	ICTを活用した新しいサービスの創出			〇〇サービス・ビジネスの創出 ※提案概要「1. 実施内容等」の「本プロジェクトの背景」の「ICTを活用した新しいサービス」の「名称」を記入
	その創出に不可欠な基盤の実現		〇〇基盤の実現 ※提案概要「1. 実施内容等」の「本プロジェクトの背景」の「当該サービスの創出に不可欠な共通的な基盤」を記入	
成果展開	民間ビジネスにおける成果の活用		※提案概要「4. 成果展開」を踏まえ記入	※同左
	官の政策における成果の活用		※提案概要「4. 成果展開」を踏まえ記入	※同左
成果目標	ICTを利活用した新しいサービスの創出に向けた開発・実証	※提案概要「1. 実施内容等」の「具体的な成果目標」を記入		
	新しいビジネス分野の基盤となる技術の確立、技術標準化、運用ガイドラインの策定等の実現	※提案概要「1. 実施内容等」の「具体的な成果目標」を記入		

2-5. スケジュール(平成22年度)

		7	8	9	10	11	12	1	2	3
準備	委託先候補の決定、委託契約締結									
実施内容	(1)ICTを利活用した新しいサービスの創出に向けた開発・実証									
	①技術開発・システム構築									
	ア. サービス要件に関する調査・検討									
	イ. ××技術の開発									
	ウ. 実証用システムの構築									
	②サービスの実証									
	ア. 実証の準備									
	イ. フィールド実証の実施									
	ウ. 実証データの取得・分析									
	③ビジネスモデルの検証									
	(2)新しいビジネス分野の基盤となる技術の確立、技術標準化、運用ガイドラインの策定等の実現									
	①〇〇の標準化に向けた提案									
	②〇〇に関するガイドライン案の作成									
	(3)プロジェクト管理									
	①報告書の作成・修正									
②〇〇プロジェクト運営委員会の開催					▲		▲		▲	
報告	中間報告、成果報告						▲			▲

3. その他

3-1. 数値計画①: 売上・粗利シミュレーション(プロジェクト実施後)

売上・利益計画の試算条件を整理する。通常、ベースケースとその上下のケースを想定すると、ある程度納得感を得やすい。厳密な数字にはあまり意味がなく、ふれ幅を大きく押さえられるように表現することが鍵

試算条件の例

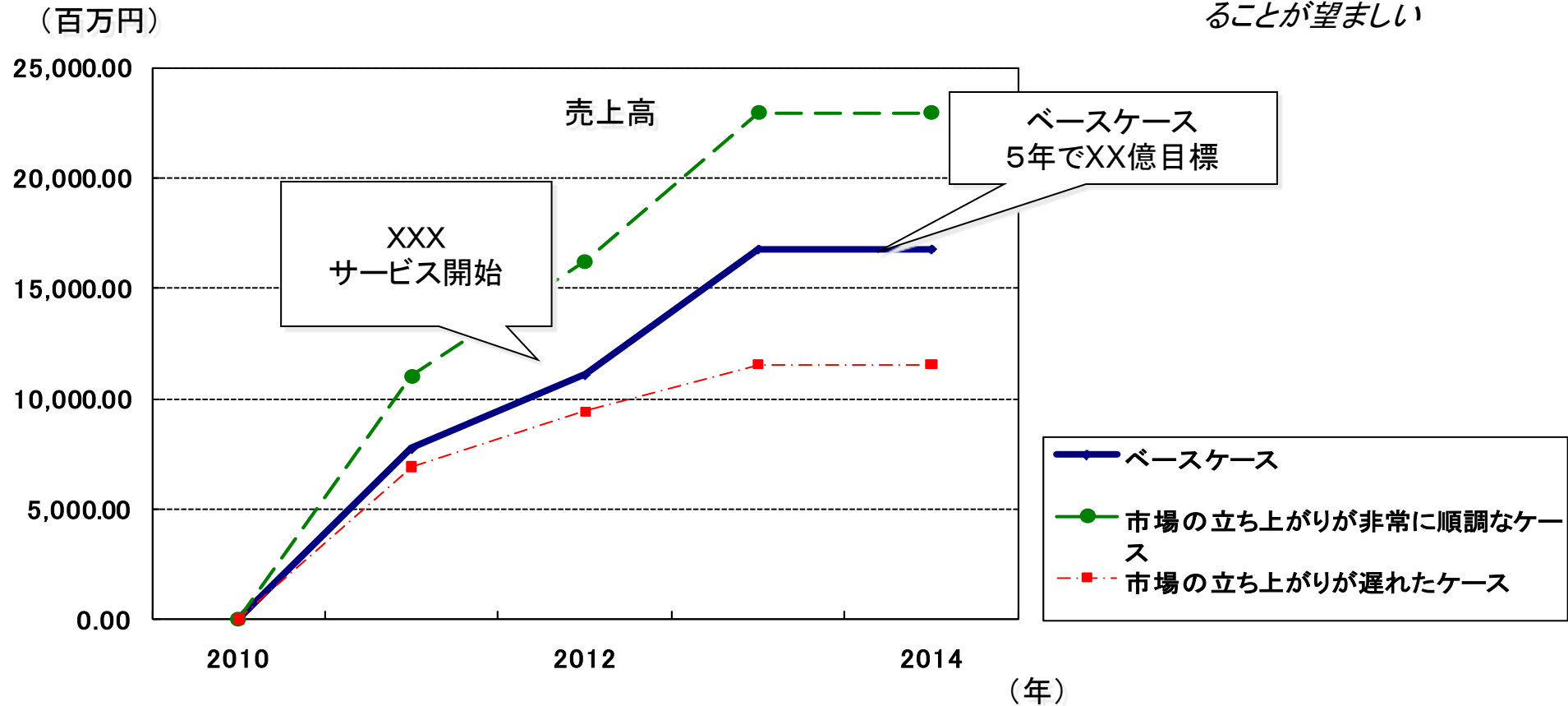
試算条件の根拠、出所を簡潔に書く

	市場の立ち上がりが遅れたケース	ベースケース*	市場の立ち上がりが非常に順調なケース	
ターゲット市場	国内XXX市場+国外YYY市場			国内市場は〇〇総研の予測から算出
シェア	5%	7.5%	10%	
予測サービス利用者数	50万台/年	75万台/年	100万台/年	
サービス利用料金	XXX円			売上高の20%を一般管理費に見積もる 内訳:開発、生産管理、輸入、販売各担当者
平均原価	XXX円(原価率XX%)			中国生産のOEM調達。 原価率75%。
経費	3億円			
売上	8億円	10億円	12億円	契約者は1年間契約され、前年の契約の10%が残ると想定、各サービスの2%が利益
粗利益率	30%	40%	50%	
	ICT化の導入遅れのため順調に立ち上がらないケース		XXX市場に大いに受け入れられ、順調にサービス展開できた場合	

* 実現可能性が80%以上と考える水準

3-2. 数値計画②: 売上シナリオ(プロジェクト実施後)

売上・粗利シミュレーションをエクセル等の表のみで示すことが多く見られるが、サイズ感をつかみにくく理解の差を生じる場合がある。下図のように色、実線・点線、線幅等を変えたグラフによる表示も必ず併記することが望ましい



3-3. プロジェクトリスクの整理と対応

考えられるプロジェクトリスク

- XXX



当プロジェクトの対応

- XXX

考えうる主なプロジェクトリスクをきちんと把握し、対応策も含めて十分考えているな、安心できる実施主体だなと思えるように書く

- XXX



- XXX

- XXX



- XXX

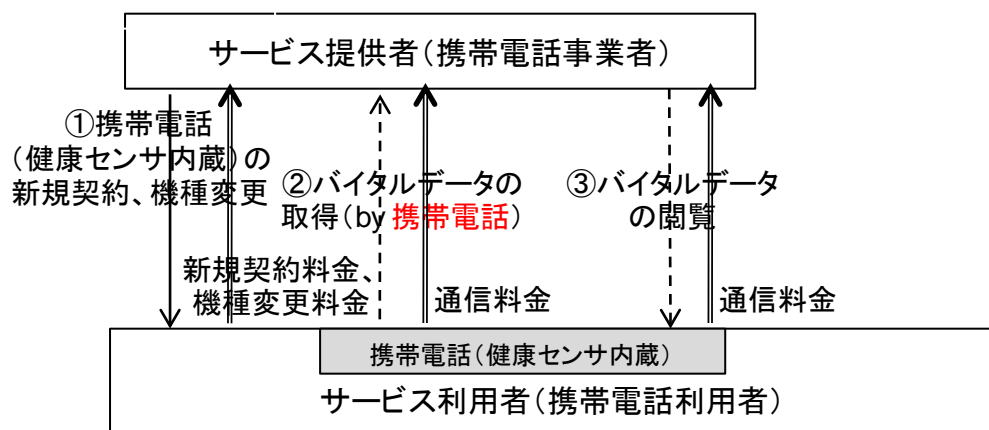
- XXX



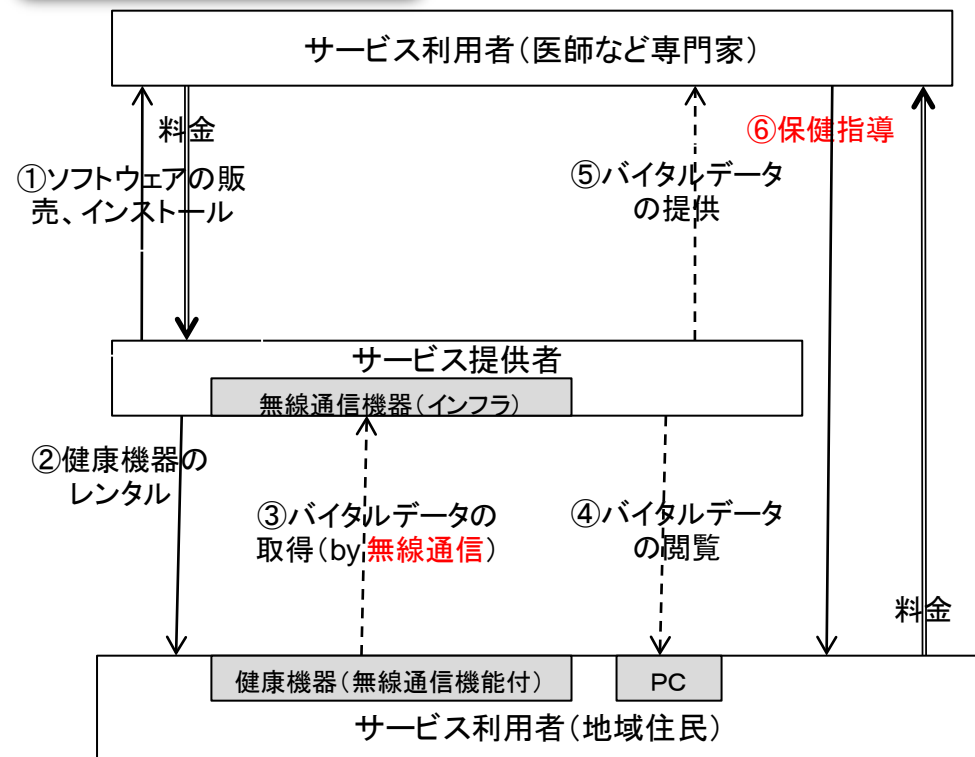
- XXX

3-4. 他のサービス・プロジェクトとの比較 (※他のサービス・プロジェクトがある場合は記載)

他のサービス・プロジェクト



本サービス



各主体の視点	他のサービス・プロジェクトの課題等	本サービスのメリット、負担等
サービス利用者の視点	バイタルデータの取得に携帯電話を利用するため、携帯電話利用者にとってはサービス利用しやすいが通信料金が大きく、携帯電話利用者以外にとっては携帯電話の新規契約が必要となる。	バイタルデータの取得に無線通信を利用するため、携帯電話利用者以外でもサービス利用しやすく料金が低く、バイタルデータを活用した保健指導も受けられる。
サービス提供者の視点	携帯電話網未整備地域ではサービス提供ができない。	携帯電話網未整備地域であっても無線通信機器(インフラ)を整備することによりサービス提供可能。

※何らかの共通点があるなど、比較的類似しているものを例示し、本サービスとの違いに着目した「他のサービス・プロジェクトの課題等」と「本サービスのメリット、負担等」を各主体の視点ごとに整理して下さい。必要に応じ、スライドを追加し、複数の他のサービス・プロジェクトと比較して下さい。